京都産業大学 日本文化研究所
公開シンポジウム

元号の世界
―最新の研究から―

日時 平成30年9月22日(土)

開場 12:30　開演 13:00　終演 16:30(予定)

会場 京都産業大学
壬生校地むすびわざ館 2階ホール

京都市下京区中堂寺命婦町1-10（京都市下京区壬生川通松原下る）

参加費：無料／定員：250名

アクセス

丹波口駅(JR)から徒歩約4分／大宮駅(阪急)から徒歩約7分
四条大宮駅（京福電鉄)から徒歩約7分

むすんで、うみだす。
京都産業大学
http://www.kyoto-su.ac.jp/

今上天皇の譲位、新天皇の即位により、間もなく新しい元号(年号)が決定・公表されます。

このホットで社会的にも関心の高いテーマに関して、最先端の研究成果を発表している、本学ゆかりの3人の研究者を中心にして、日本の元号に関するシンポジウムを開催します。

世界的視野のもと、日本の元号に関する歴史的展開を追いながら、そのはじまり、ひろがり、そしてこれからについて、報告・討論がなされます。

学術的にも社会的にも注目される「平成」最後の秋にふさわしいシンポジウムです。

プログラム

▶基調報告

「元号の来し方・行く末」
所 功
（本学名誉教授・日本文化研究所客員研究員）

▶報告1

「元号のはじまり」
久禮 旦雄(本学法学部准教授)

▶報告2

「元号のひろがり」
吉野 健一 氏（京都府立丹後郷土資料館学芸員）

パネルディスカッション

所 功・久禮 旦雄・吉野 健一 氏

〈コーディネーター〉
若松正志（本学文化学部教授・日本文化研究所兼務所員）

申込について

つぎのURLにアクセスのうえお申し込みください
http://www.kyoto-su.ac.jp/events/20180922_850_sympo.html

申込締切

平成30年9月20日(木)
※インターネットからのお申込みは定員に至るまで可能です。

問合せ先

京都産業大学 研究機構（研究支援担当）
E-mail：sympo-kenkyu@star.kyoto-su.ac.jp

2019年4月開設決定!!
京都文化学研究科 京都文化学専攻（通信教育課程）[修士課程]

京都から未来をリードする人材を養成

現在、国内外から京都及び京都文化が注目されています。1200年以上の歴史のなかで京都は、日本の伝統的な文化・芸術を育む一方、海外からの先進的な文化や技術を取り入れ、新たな文化や産業も生み出してきました。
本研究科では、多様な京都文化のうち、歴史・文学・文化財・伝統産業の4つを切り口に、専門的な視点・方法・知識を学び、調査・分析を行う中から、京都をはじめ、これからの地域社会・国際社会で活かせる知恵や技能を身に付けます。

研究科の特色

- ■文化財や伝統産業に関する実学を深く学ぶ
- ■歴史や文学について、新たな文献学の手法で研究する
- ■通信教育で時間・場所を問わずに学び、ステップアップ

京都文化を深く掘り下げるカリキュラム

4つの研究分野

歴　史	明治維新まで首都として機能した歴史的性格を文献史学の手法で解明
文　学	古典書籍が集積する地の利を生かし、実証研究で作品を深く理解
文化財	有形・無形文化財を考古学、民俗学等の実践的手法を通して研究
伝統産業	ものづくりを理論と実践の両面から掘り下げ、産業の実態を研究

通信教育+スクーリング（面接授業）による効果的な学習

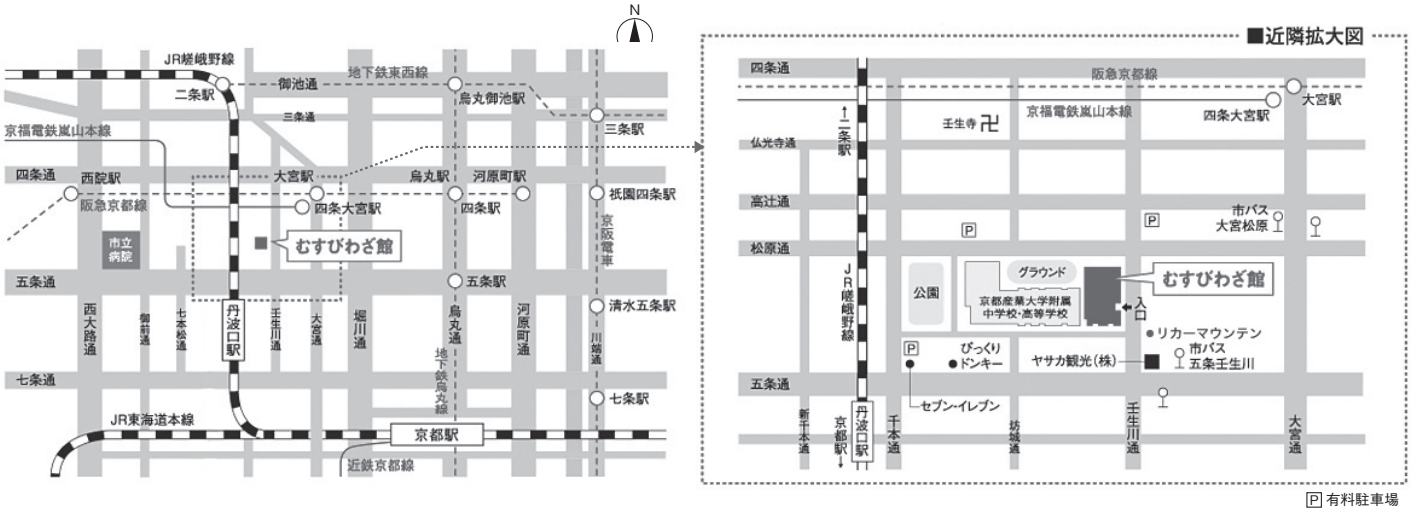
基礎科目	教員全員によるオムニバス方式の授業で、基礎的な知識と研究方法を修得
展開科目	研究分野を掘り下げながら、各自の興味・関心に応じ、研究の幅を広げる
演習科目	修士論文または特定課題研究報告書完成に向けて、より専門的・実戦的な研究を行う

京都産業大学 大学院京都文化学研究科 開設記念シンポジウム「祇園に生きる―花街の文化―」

日　時　2018年10月20日（土）午後開催予定

場　所　京都産業大学むすびわざ館ホール　※詳細は９月下旬に本学ホームページでお知らせします。

むすびわざ館へのアクセス



●丹波口駅（JR）から　徒歩約4分
●大宮駅（阪急）から　徒歩約7分
●四条大宮駅（京福電鉄）から　徒歩約7分

〒600-8533 京都市下京区中堂寺命婦町1-10　京都産業大学 壬生校地 むすびわざ館

むすびわざ館には駐車場はございません。
お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。